

2024年4月30日 全7頁

Indicators Update

2024年3月鉱工業生産

自動車メーカーの工場稼働再開で生産指数は3カ月ぶりの上昇

経済調査部 研究員 石川 清香

[要約]

- 2024年3月の生産指数は前月比+3.8%と3カ月ぶりに上昇した。自動車メーカーの工場稼働再開の影響で、自動車工業が増産となった。品目別では、特に普通乗用車や普通トラックの増産幅が大きかった。その他の業種では、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復局面入りを背景に、生産用機械工業や電子部品・デバイス工業が増産となった。経済産業省は基調判断を「一進一退ながら弱含み」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は、横ばい圏で推移するとみている。シリコンサイクルの回復局面入りや、自動車メーカーの工場稼働再開などが生産を下支えするだろう。他方、米欧での景気減速などは生産の押し下げ要因だ。
- 2024年5月9日に公表予定の3月分の景気動向指数は先行CIが前月差▲0.4ptの111.4、一致CIが同+2.4ptの114.0と予想する。予測値に基づくと、3月の基調判断は機械的に「下方への局面変化」に据え置かれる。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2023年					2024年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
鉱工業生産	▲0.4	+0.1	+1.2	▲0.6	+1.2	▲6.7	▲0.6	+3.8		
コンセンサス								+3.3		
DIR予想								+3.2		
生産予測調査									+4.1	+4.4
補正值(最頻値)									▲1.0	
出荷	▲0.2	+0.6	+0.3	▲0.8	+1.6	▲7.5	▲0.7	+4.3		
在庫	▲1.1	▲0.9	+0.0	+0.0	▲0.9	▲1.7	+0.6	+1.1		
在庫率	▲0.5	▲1.2	▲0.2	+1.5	▲2.3	+2.6	▲5.6	+7.1		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】自動車メーカーの工場稼働再開で自動車工業が3カ月ぶりに増産

2024年3月の生産指数は前月比+3.8%と、コンセンサス(同+3.3%、Bloomberg調査)を上回り3カ月ぶりに上昇した。自動車メーカーの工場の稼働再開が進んだことで、普通乗用車などの生産が復調した。経済産業省は基調判断を「一進一退ながら弱含み」に据え置いた。

生産指数を業種別に見ると、15業種中9業種が前月から上昇した。自動車メーカーの工場の稼働再開の影響で、自動車工業(前月比+9.6%)が3カ月ぶりの増産となった。品目別ではウエイトの高い普通乗用車(同+8.3%)のほか、普通トラック(同+27.5%)の増産幅が大きかった。トヨタ自動車では、豊田自動織機におけるディーゼルエンジンの認証取得問題を受けて一部工場の稼働を停止していたが、3月4日より同エンジン搭載車種等の生産を全面再開した。

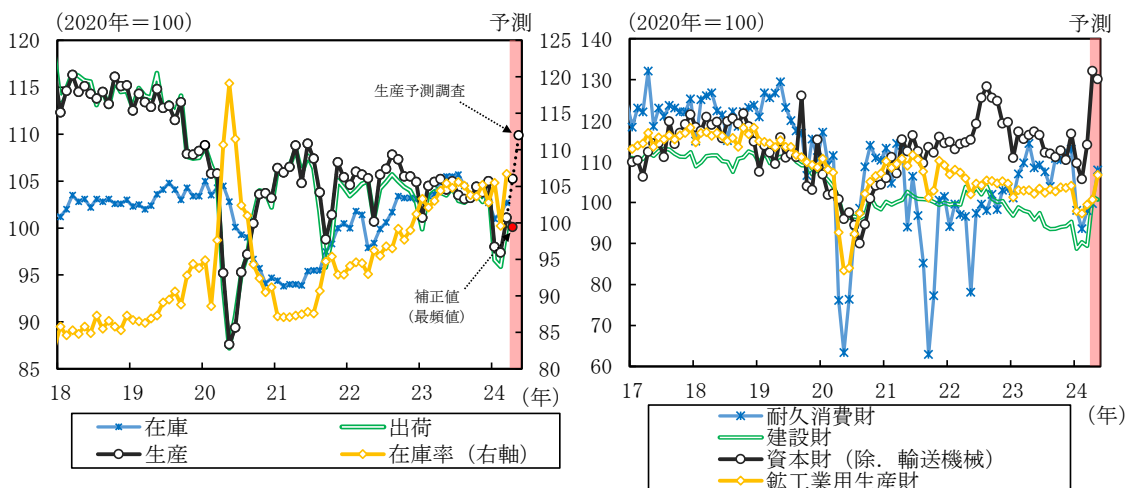
生産用機械工業(前月比+11.6%)や電子部品・デバイス工業(同+9.2%)も増産となった。シリコンサイクル(世界半導体市場に見られる循環)の回復局面入りで、半導体関連財の需要が拡大している。生産用機械工業では、中国を中心に海外からの受注が旺盛で、フラットパネル・ディスプレイ製造装置(同+523.4%)や半導体製造装置(同+14.0%)が増産となった。電子部品・デバイス工業でも、モス型IC(メモリ)(同+35.3%)の生産が増加基調を辿っている。

財別では、資本財(除. 輸送機械)(前月比+7.9%)や生産財(同+2.1%)、非耐久消費財(同+2.7%)、耐久消費財(同+4.7%)が押し上げ要因となった一方で、建設財(同▲1.0%)は低下した。

【出荷・在庫】設備投資動向を示す資本財出荷が上昇

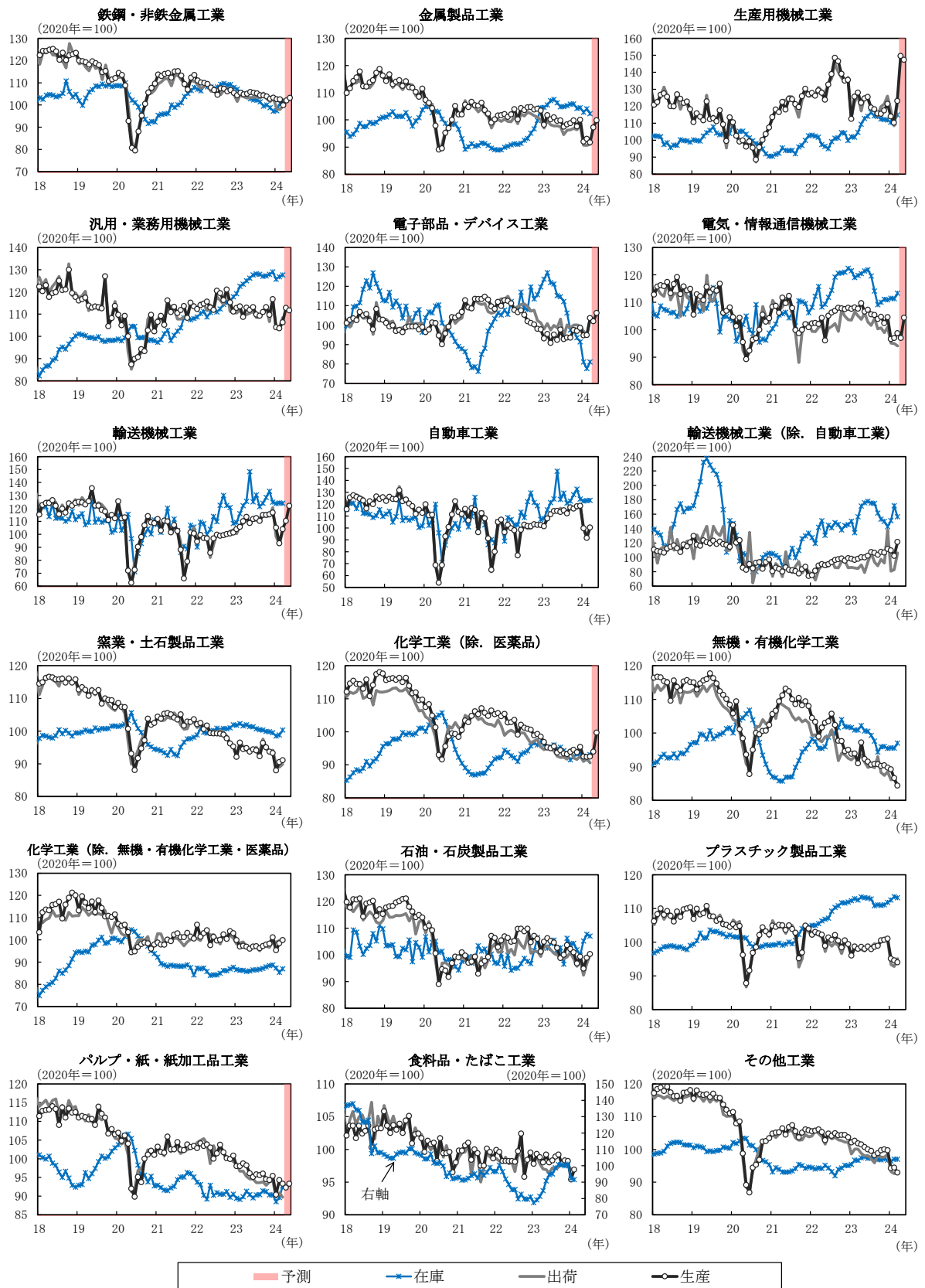
3月の出荷指数は前月比+4.3%と3カ月ぶりに上昇した。業種別では、自動車工業など15業種中12業種が上昇した。財別では、生産財のほか、設備投資動向を示す資本財(除. 輸送機械)や、非耐久消費財、耐久消費財が上昇した一方で、建設財は低下した。在庫指数は同+1.1%、在庫率指数は同+7.1%となった。

図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫(左)と財別の生産(右)



(注) 生産指数の予測値(赤色)は、製造工業生産予測指数の補正值。その他シャドー部分の値は、製造工業生産予測調査による。
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業(除.医薬品)の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【先行き】シリコンサイクルの回復や自動車の挽回生産が好材料

先行きの生産指数は、横ばい圏で推移するとみている。当面は、シリコンサイクルの回復局面入りで、半導体関連財の生産が増加するとみている。自動車メーカーの工場稼働再開で自動車生産も復調するだろう。他方、米欧での景気減速は生産指数の押し下げ要因だ。特に欧州では、景気回復が非常に緩やかなペースにとどまっており、当面は日本における大幅な生産の回復は見込みにくい。

シリコンサイクルは改善傾向にあり、引き続き半導体製造装置をはじめとした半導体関連財の需要回復が見込まれる。WSTS（世界半導体市場統計）によれば、2月の世界半導体販売額（3カ月移動平均）は前年比+16.3%と高水準を維持している。今後も中国向けを中心に半導体製造装置などの輸出増が見込まれ、国内の関連財の生産の押し上げ要因となるだろう。ただし、4月26日には経済産業省は量子分野や半導体関連で輸出管理品目の対象拡大を発表するなど、輸出管理強化の動きが見られている。今後、対中輸出管理規制の強化によって中国での半導体製造装置などの販売額が落ち込めば、日本の生産指数を下押しするリスクがある。

また、国内の自動車メーカーの工場稼働再開は生産指数を押し上げるだろう。ダイハツ工業では4月までに生産体制の正常化が進んでおり、5月7日には約5カ月ぶりに国内全工場の稼働が再開される予定だ。生産体制の正常化に伴い、受注残を解消するための挽回生産が進めば、生産指数の押し上げ要因となるだろう。他方で、トヨタ自動車では、部品の不具合などを理由に一部車種について生産を停止しており、今後の影響を注視する必要がある。

製造工業生産予測調査によると、2024年4月の生産は前月比+4.1%（生産指数全体の計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同▲1.0%）と見込まれている。業種別では11業種中7業種が上昇する見込みだ。生産用機械工業（同+21.5%）で半導体製造装置などの受注増が見込まれているほか、輸送機械工業（同+6.1%）では自動車の挽回生産が押し上げ要因となろう。

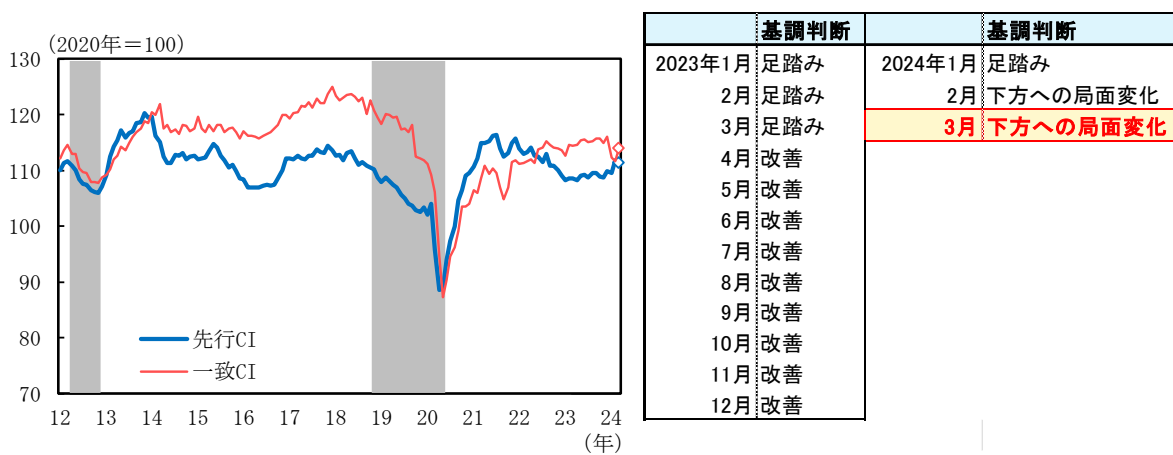
さらに、5月の生産は前月比+4.4%となる見込みだ。業種別では、11業種中8業種が上昇するとみられている。輸送機械工業（同+10.5%）のほか、電気・情報通信機械工業（同+7.6%）などで増産が計画されている。

【3月景気動向指数】先行CIは低下、一致CIは上昇の見込み

鉱工業指数の結果を受け、2024年5月9日に公表予定の3月分の景気動向指数は先行CIが前月差▲0.4ptの111.4、一致CIが同+2.4ptの114.0と予想する（図表4）。先行CIでは構成指標のうち、最終需要財在庫率指数や鉱工業用生産財在庫率指数、新規求人数（除学卒）などが悪化した。また一致CIでは構成指標のうち、生産指数（鉱工業）や投資財出荷指数（除輸送機械）、輸出数量指数などが改善した。この予測値に基づくと、3月の基調判断は機械的に「下方への局面変化」に据え置かれる。

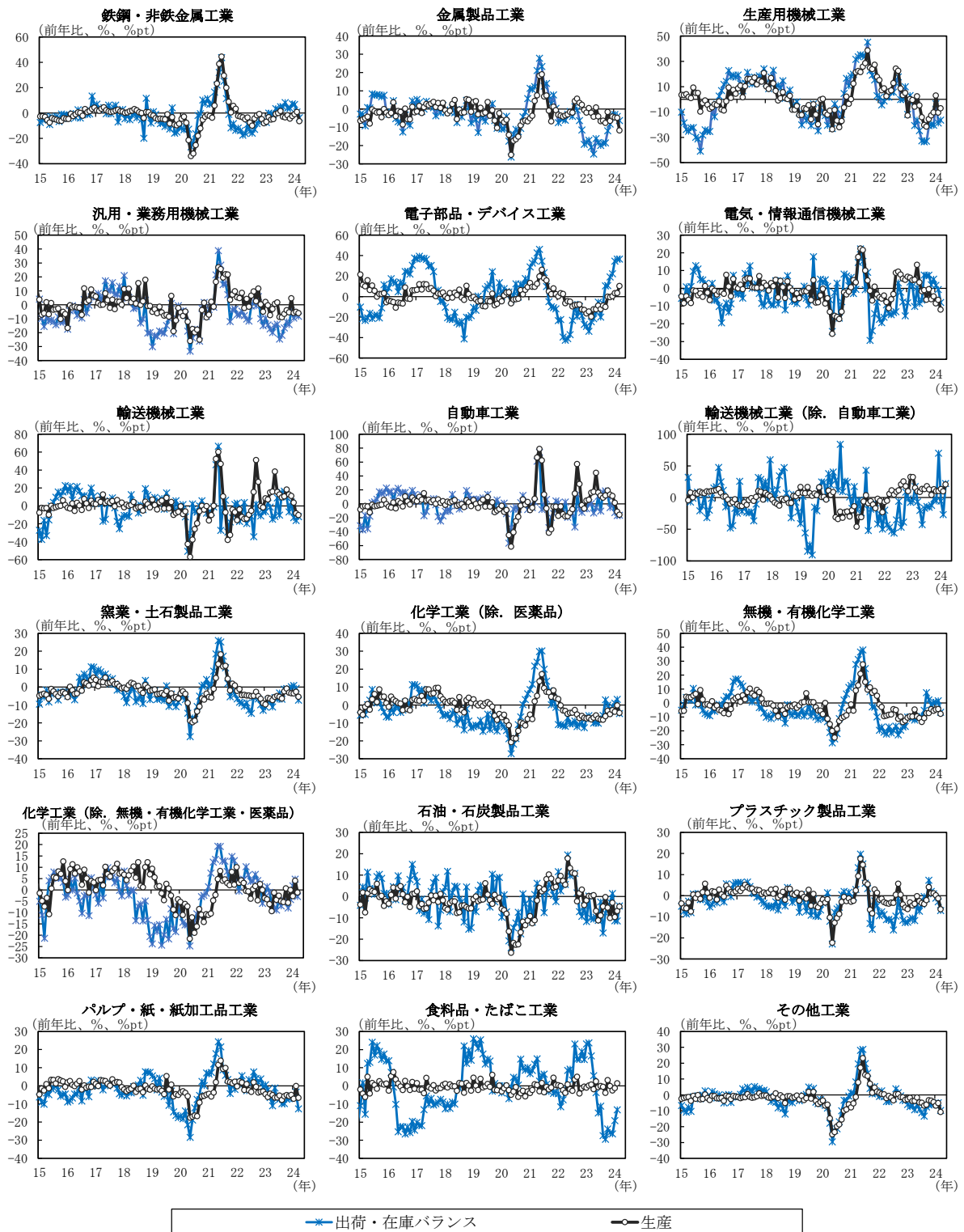
先行きの経済活動は緩やかな回復基調を辿るとみている。国内の自動車の生産体制は4月中におおむね正常化したことから、今後は受注残を解消するための挽回生産が見込まれる。シリコンサイクルの回復局面入りを背景とした、半導体関連財の生産や輸出の増加も好材料だ。また、2024年の春闘の賃上げ率は33年ぶりの高水準となる可能性が高く、家計の所得環境の改善が個人消費の回復を後押しするだろう。他方で、海外経済に目を向けると、中東情勢の緊迫化や中国の不動産不況といった下振れリスクが存在する。国内でも、物価上昇が想定以上に加速したり、実質賃金の上昇時期が後れたりする可能性には注意が必要だ。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移



（注）左図の直近は大和総研による予測値。シャドーは景気後退期。
右図の2023年4月以前の基調判断は2015年基準による。同年3月は大和総研予想。
（出所）内閣府統計より大和総研作成

業種別 出荷・在庫バランスと生産



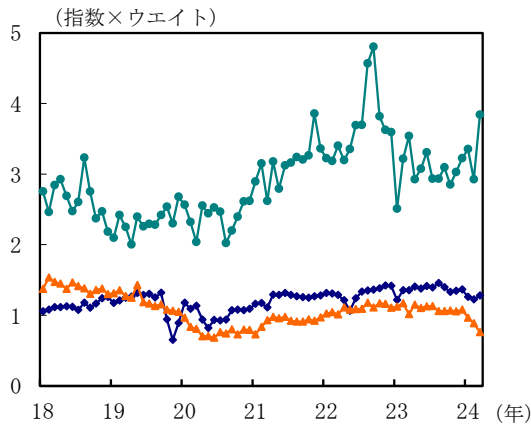
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

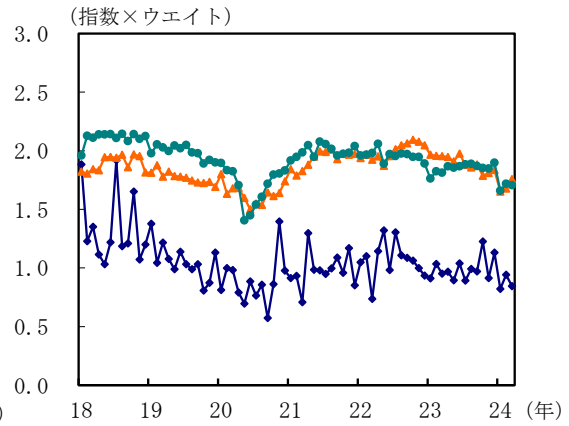
主要産業の生産動向(季節調整値)

生産用機械



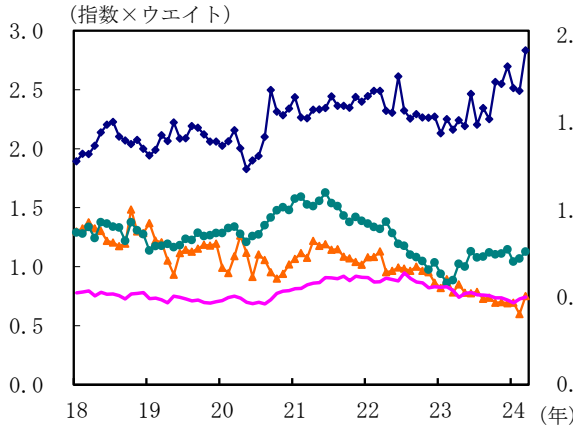
- 建設・鉱山機械
- 金属加工機械
- 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置

汎用・業務用機械



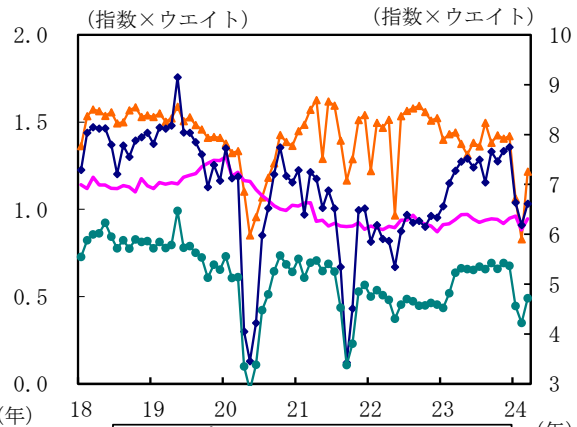
- ボイラ・原動機
- ポンプ・圧縮機器
- 汎用機械器具部品

電子部品・デバイス



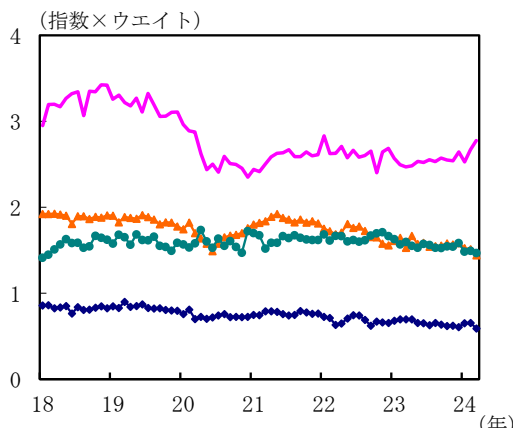
- 集積回路 (IC)
- 電子デバイス
- 電子部品
- 電子回路

輸送機械



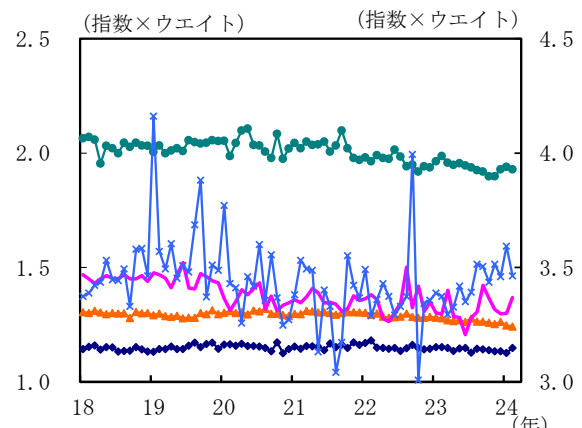
- トラック
- 船舶・同機関
- 乗用車 (右軸)
- 車体・自動車部品 (右軸)

化学



- 石油化学系基礎製品
- プラスチック
- 洗剤・界面活性剤
- 化粧品

食品・たばこ工業



- 肉加工品
- 乳製品
- パン・菓子
- 清涼飲料
- 酒類 (右軸)

(注) 食品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成